

## 「お世話になりました」

元次長 後藤 範明



沖縄の皆様、在職中は大変お世話になりありがとうございました。

お陰様で、長い国有林生活の締めを沖縄の地で締めくくることが出来ました。

いざ退職を迎えると、走りきった安堵感や今後の生活に対する不安等々、様々な事が悩みの種となり経験した事のない感情に戸惑い悶々とした日々が続きましたが、半年を過ぎた頃からようやく落ち着きをを取り戻せ新しい仕事にも前向きに取り組むことができています。

新聞テレビ等で沖縄関連のニュースを見聞きするたびに、やっぱり「終の棲家」は沖縄しかない。「隣の人」に言うのですが・・・一人で行けばぁ・・・希望は持ち続けたいと思っています。

さて、聞くところによると国有林も特別会計から一般会計に移行するとの事、沖縄の国有林を含めどのように制度等が変わるのかが分かりませんが、沖縄の森林・林業・林産業を沖縄県、関係市町村の皆様と連携して守り育てていって欲しいと思います。

今後、様々な課題もあろうかと思いますが、関係者で力を合わせ子供たち孫たちの世代へと日本の森林を継承していただければと願っています。

皆様の頑張りをお願いするとともに、私も元沖縄県民として、また国有林サポーターとして微力ながら皆さんの応援をさせて頂きたいと考えております。

最後になりましたが、皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げます。

大変お世話になりました。とても楽しい沖縄での生活でした。ありがとうございました。

## 「沖縄の皆さん、有り難うございました」

元総務課長 後藤 寿也

4月1日で九州森林管理局計画部森林技術センターの副所長を拝命し、早いもので、1年近くが過ぎようとしています。

職場が変わり沖縄での勤務内容とは随分違いますが、元気で頑張っています。沖縄では3年4ヶ月間という長い期間を楽しく過ごさせて頂きました。



石垣島から西表島まで向かうエメラルド色の海、渡嘉敷島サンゴ礁の熱帯魚、与那国島でのアカウミガメ・アオウミガメ、マングローブ林や亜熱帯の花々等、今でも自然色豊かな色彩が目につかびます。さらに、古事の森や各種ダム祭りなどイベント関連の準備、さらに夜の「慰労会」など24時間体制で酌み交わした「島酒」も良い思い出です。また、地域の多くの子供達やご父兄の方に沖縄の風土と歴史について教えて頂き、とても充実した沖縄の生活でした。

現在は、スギ・ヒノキの人工林を主体とした森林に設定されている各種試験地の調査や、課題研究に向けた取り組みとして、エリートコンテナ苗（次世代有用コンテナ苗）の植栽を本年度実施し、通常の苗との成長過程の比較を検証する予定です。さらに、シカ等の捕獲については、NEW タイプの「箱罠」が完成し、後日ご披露目できると思います。

さらに、森林総合研究所や林木育種センター並びに大学等の各種研究機関との共同研究を実施しています。沖縄署での県や市町村や大学等との多岐にわたる業務の経験が現在の業務に役立っており、ご指導頂いた皆様方に今更ながら感謝しております。